



### ゴールデンウィーク 受付業務案内

	4月29日 (木曜日)	30日 (金曜日)	5月1日 (土曜日)	2日 (日曜日)	3日 (月曜日)	4日 (火曜日)	5日 (水曜日)
剖検 業務体制	休日体制	通常業務	休日体制 剖検受付時間 8:30~17:15 (内線 2257orPHS 18218)				
解剖 当番医	福嶋		辻	河田	木原	丹波	天野
解剖補助 当番技師	織田		小瀬川	杉本	二階堂	郡	本望
細胞診 組織診	休日体制		休日体制 緊急の検体提出がある場合は、 剖検当番医または当番検査技師に 電話連絡をお願いします。 (内線 2257orPHS 18218)				

### 合格おめでとう！！

佐藤紗弥香技師、杉本真技師が、細胞診検査士（スクリーナー）資格試験に合格しました。

今回の試験はコロナ禍で多くの制限があり、直前まで試験が実施されるのかどうか、本人たちはもとより、周りのスタッフも気をもんだ状況でした。そんな中でも一次試験（筆記）を突破して二次試験（実技）に臨み、見事に合格を勝ち取りました。通年の試験とは違う困難を乗り越えて手にしたスクリーナー資格、喜びもひとしおです。今後の仕事の幅も広がります。これからも一生懸命やっていって欲しいと願っています。



### 第1回 日本病理学会認定分子病理専門医認定

当科から、福嶋敬宜部長、河田浩敏先生、木原淳先生の3名が認定されました。

#### 日本病理学会認定分子病理専門医とは

近年がんゲノム医療の開始に伴い、包括的がんゲノムプロファイリング検査、エキスパートパネル等における病理医の重要性が増しています。

日本病理学会認定分子病理専門医とは、病理専門医を対象とし、さらに日本病理学会が取り決めた「分子病理専門医研修カリキュラム」を履修し、日本病理学会が実施する「分子病理専門医試験（筆記試験）」に合格し、認定された医師です。

### ISO15189認定審査

5月26-27日、病理診断部にISO15189評価・認定の審査が入ります。

ISO15189は臨床検査室の品質と能力に関する要求事項を定めた国際規格のことで、臨床検査（含病理検査）を実施する検査室の技術能力を決定する手段の一つです。検査室は「精確な(accurate)結果」を提供する能力が問われる他、検査室外のいかなる人も検査結果を変更することができない業務の独立性が要求されます。ISO 15189は、「品質マネジメントシステムの要求事項」と「臨床検査室が請け負う臨床検査の種類に応じた技術能力に関する要求事項」の2つから構成されています。

病理検査では上記の評価に加えて、がんゲノム医療に向けた検体の取り扱いにおいてもISO15189認定を受けることが重要かつ必要な要素になっています。

### 病院だより掲載

(第32号 令和3年3月発行)

「検査の豆知識」に電子顕微鏡検査が掲載されました



剖検申し込みの際は、2020年12月24日発行ニュースレターでお伝えした「COVID19感染状況下における剖検対応について」に準じ、  
（1）新型コロナウイルス感染症で入院されていた場合  
（2）臨床的に新型コロナウイルス感染が疑われる、もしくは否定できない場合  
（3）臨床的に症状がなく、新型コロナウイルス感染の可能性がないか、ほぼないと判断される場合などで、対応（PCR検査の有無の確認など）が異なり、通常時より、剖検開始までに時間がかかる場合やその日に行えない場合もあります。  
剖検に関する遺族への説明の際は、そのことも含めてお伝え下さいますようお願い申し上げます。

### 新任職員紹介

4月より病理診断部の仲間に加わったスタッフを紹介します。

#### 岡田 啓祐 (おかだ けいすけ) ; 臨床検査技師

【略歴】  
2017年3月 宇都宮大学工学部応用化学科卒業  
2021年3月 栃木県立衛生福祉大学校臨床検査学部臨床検査学科卒業  
2021年4月 現職



はじめまして。この度、病理診断部に配属となりました岡田と申します。学生時代から興味があった病理検査に携わることができ、とてもうれしく思っております。至らない点、多々ありますが、一歩ずつ着実に成長していけるよう取り組んでいきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

#### 検体受付および剖検受付時間

8:30 ~ 17:15 (内線 2257)

注) 土・日・祝祭日は剖検のみ受付 (内線 2257 or PHS 18218)